

＜メディア批評＞ 戦後70年の「安倍談話」はやはり村山談話を事実上否定

2015年1月26日 上出 義樹

安倍首相は討論番組で「植民地支配と侵略」は継承しないと明言

安倍晋三首相は1月25日のNHKの党首討論番組で、今年8月に発表する戦後70年の新たな首相談話について言及。戦後50年の際に発表した「村山談話」の核心である「植民地支配と侵略」のキーワードを継承しない意向を事実上明言。同席した野党党首から「非常に重大な問題だ」「国会審議で追及する」などと厳しい批判が噴出した。

キーワードが抜け落ち歴代日本政府の見解が骨抜きになる懸念

「植民地支配と侵略」という言葉を使いアジア諸国などに謝罪した「村山談話」やその10後の「小泉談話」などに関連して、安倍首相はこの1月5日の年頭会見で、「全体として引き継ぐ」というあいまいな表現を使い、歴代内閣の見解を「継承」する方針を説明した。しかし、アジア諸国に対する日本の加害責任に関する国会答弁などで「侵略」や「植民地支配」の言葉をかたくなに封印する安倍首相の一連の言動などから、今年、8月15日の「安倍談話」は、「植民地支配と侵略」という最も重要な言葉がすっぽり抜け落ち、「村山談話」が骨抜きになるとの懸念が各方面で指摘されてきた。

侵略戦争美化の持論とタカ派的本性を露呈

この日のNHKの番組では、司会者とのやりとり中で、「侵略」などのキーワードについて「こまごまとした議論」などと語り、あえて軽視するかのようの一蹴。過去の日本の侵略戦争を美化する持論と、安倍首相のタカ派的な本性を隠さなかった。これらの発言は、集団的自衛権の行使容認に踏み出した安倍首相が、海外で戦争する国づくりや、改憲を本格的に始動する決意表明とも読み取れた。

政権与党にすり寄るマスコミ 「安倍談話」の徹底批判に限界も

朝日、毎日、東京各紙などは26日付朝刊でこの首相発言を一応批判的に報道。今後、「安倍談話」に対して内外から厳しい議論が起こることが予想される。日ごろ安倍政権を後押しする読売や産経新聞などばかりでなく、何かにつけ安倍首相や政権与党へのすり寄りが目立つ最近のマスコミだけにあまり期待はできないが、他のさまざまな分野でも国民との矛盾をますます広げる安倍暴走政治に対し、新聞やテレビは本気で立ち向かってほしい。

(かみで・よしき) 北海道新聞社で東京支社政治経済部、シンガポール特派員、編集委員などを担当。現在フリーランス記者。上智大大学院博士後期課程(新聞学専攻)在学中。